



寄付玉で臓器移植支援 7年で2千万円を超える

(株)正栄プロジェクト

株式会社正栄プロジェクト(本社 札幌、美山正広社長)は「イーグル」の店名で北海道に26店舗、関東に4

店舗を持つパチンコチェーン。

同社は設立以来「ここにイーグルがあつて良かった」と言っ

て頂ける店づく

りを心掛け、

企業理念に掲

げている「社

会に必要なと

される企

業」を全社

一丸とな

って目指

しています。

そのため、

何よりもお

客様から「あ

りがとう」

の言葉を頂

けるようホー

ルスの接客に

も力を入れ、同

時に「社会のお役に立ち

たい」との想いから社会

貢献活動にも熱心に取り組んでき

ました。

なかでも03年8月に開始した臓器

臓器移植支援の寄付玉を募るコーナー



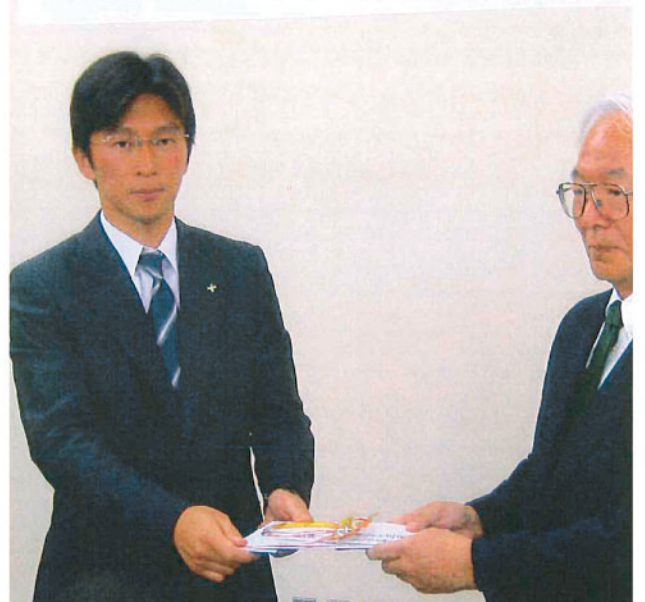
移植医療支援活動はホールに寄付玉ボックスを常設し、来店されたお客様から余り玉・コインを寄付して頂くという全国でも珍しい取り組みとして注目されています。道内の店舗は北海道移植医療推進協議会に、関東圏の店舗は臓器移植ネットワークに毎月寄付しており、これ以外に同社からも一定額の寄付を行っています。また毎年8月に開催しているイーグルグループ札幌オープンチャリテイイゴルフトーナメントの入場料とチャリテイオークションで集まった金額も、北海道移植医療推進協議会に寄付しているとのこと。

藤堂教授の提案がヒントに

この活動は今から6年ほど前、美

山社長が臓器移植医療の世界的な權威であり「ゴッドハンド」の異名を持つ藤堂省北海道大学大学院医学科教授からホールに落ちていたパチンコ玉を移植医療活動に役立てられな

可又原医植器臓



北海道移植医療推進協議会の池田久貴副理事長に寄付の目録を手渡す美山社長(左)

この活動はお客様とともに行うことに意義があると考え「寄付玉」という画期的な発想になったそうです。イーグルグループの店内には寄付

玉ボックスをは

じめ臓器提供意

思表示カードや

ポスター、パン

フレットを設置

し、また毎月の

寄付玉・コイン

集計結果をお客

様にボードで報

告しています。

札幌雪まつりで

は臓器移植をモ

チーフとした水像を作り、その水像

前で臓器提供意思表示カードを観光

客などに配布するという活動も行っ

ています。

寄付玉・コインを開始した03年か

ら現在までのお客様による寄付金累

計は1064万円となり、総額では

2118万円(8月末現在)に達し

ています。美山社長は北海道移植医

療推進協議会の理事として、同社従

業員全員に臓器提供意思表示カード

の所持を義務付けるなど、物心両面

から臓器移植医療発展のために活動

を行っています。同社では、今後も

この活動を積極的に継続していくと

話していました。